



広報あくな

第372号

世帯数と人口 (12月1日現在)	
世帯数	9,277 (+5)
人口	30,521 (+1)
男	14,202 (+4)
女	16,319 (-3)
()内は前月比	

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
 昭和53年1月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



1月号

晴れやかに成人式

成人の日より1足早い松の内の1月3日、市民会館で成人式が行われました。今年686人が大人の仲間入りし、会場は三つぞろいの若者や和服姿の娘さんたちで盛況でした。式典では喜多智城教育委員長が「自己を見失わず自からの人生を切り開いてください」とあいさつ。坂元市長は「厳しい社

会のなかで、試練の壁に耐えて前進してください」と激励。成人者代表の青龍折美さんは「ふるさと阿久根を大切に、運命にゆだねることなく、積極的に生きます」と感想発表、会場の拍手を受けました。会場には成人者の家族なども駆け付け、成人を祝福していました。

主 な 内 容	自衛隊誘致と農業の悩み	2・3
	第4回定例市議会	4
	高額療養者に療養資金貸与	4
	市民憲章を制定	5
	名誉市民松田進さん死去	5
	新春放談	6~9
	阿久根駅にみどりの窓口	10
	年内に実エンドウ出荷	11
	ひろば	12~13
	お知らせ	14

自衛隊誘致と農業の悩みを訴える



市勢発展をかけた坂元市長

金丸防衛庁長官、鎌田知事と会談



金丸防衛庁長官に「防衛政策の面からと地域開発のために、是非、阿久根に自衛隊を」と訴える坂元市長



鎌田知事に「自衛隊誘致の県内乱立は宮崎県を有利にするだけ、知事の決断で阿久根にしぼって自衛隊の誘致を」と訴え、稲作転換など農家の悩みを訴える坂元市長

金丸防衛庁長官に 駐とん地選定を陳情

「過疎からの脱皮を」と、市、議会、市民団体が一体となって陸上自衛隊の誘致運動を展開している本市では、十二月十五日坂元市長が上京し、十六日金丸信防衛庁長官と会談、駐とん地の移駐について陳情しました。

会談のなかで坂元市長は「南九州には鹿屋と園分に自衛隊が配置され、宮崎県には都城と新田原に自衛隊基地があるが、鹿児島県西

北部には何の施設もない。防衛政策の面から、自衛隊への理解が深い阿久根に、是非、駐とん地を」と、熱く要請しました。

これに対し金丸信防衛庁長官は「駐とん地の選定は立地条件、市民性などを考慮して、慎重に検討したい」と述べ、坂元市長の強手に心よく応じていました。

自衛隊誘致には阿久根をはじめ十数市町が乗り出しているだけに今後の市民の後押しが、何よりも大切だといえるようです。

県は阿久根にしぼって 自衛隊の誘致を

阿久根をはじめ、出水・川内・垂水・名瀬・知覧・横川・金峰・

佐多、それに宮崎県えびの市など十数市町が陸上自衛隊の誘致を決

焦点

十二月二十四日、市役所正面玄関付近で開かれた果樹農業危機突破大会は、ますます深刻になる農業問題を浮き彫りにしていました。長期化する不況のなかで、日本経済を支えるため、やむを得ない措置とはいえ、農家にとって農産物の輸入は死活の問題。

▽新聞報道によると米國が日本に示した農産物の追加要求は①ホテル用牛肉の輸入ワクを一万吨に増やす②果汁の輸入ワクをオレンジ・グレープフルーツ合わせて年間五万トにする③四月・九月にオレンジを秀節自由化する—というもので、これまでの輸入ワクの十倍以上。

▽要求を受け入れなければ、米議会で対日輸入制限立法が成立し、日本の輸出は九十日以内に締め出され、鉄鋼や自動車などの工業製品を輸出している日本経済はマヒし更に不況は深刻化するとして政府は農産物の輸入増に踏み切ろうというもの。

▽農産物輸入の犠牲になるのは農家。これでは国の指導を忠実に実行してきた農家は見殺しとなり、まさに「農民を殺すな」と訴えたい。



「果汁輸入枠拡大絶対反対」などを掲げて市役所前で決起集会を行う果樹農家

議し、白熱した誘致運動を続けているなかで、県内五市四町による誘致運動は、結果的に宮崎県及び市の移転を有利にするかと断じた。坂元市長は、十二月十五日鎌田知事を訪問し、自衛隊誘致に対する知事の意向を打診したほか、農業問題では県の水田利用再編対策の方針や農産物輸入の問題など農家の悩みを訴えました。

席上、坂元市長は「現在、阿久根をば

じめ県内五市四町が自衛隊の誘致を決断し、運動を続けているが、県内の乱立はえびの市にしばって誘致運動を進めている宮崎県を有利にしている。阿久根には県の出先機関もなく、過疎現象は深刻になる一方、鹿児島県の自衛隊誘致運動は、知事の決断で阿久根にし

「農家を苦しめる 米の生産調整と農産物輸入 知事の政治的解決を要請」

はって進めてほしい」と要請。これに対し鎌田知事は「鹿児島県の誘致運動を、阿久根にしばって展開するには、五市四町による話し合いが必要だと思う。私としても自衛隊が宮崎県に移転するのを傍観するわけにはいかない」と知事の見解を述べました。

農政問題では昭和五十三年度の米の生産調整と農産物の輸入問題などを取り上げ、農家の窮状を訴えました。席上、坂元市長は「五十三年度

は不可能。土地の現況に合った割り当てをしていただきたい」と要請するとともに、土地基盤整備事業として、農業構造改善事業のほかに、小規模の土地改良事業を眼で行なうよう要請しました。

また、円高ドル安のなかで、対外貿易収支の黒字べらし策として政府がオレンジ、肉牛など、農産物の輸入増を明らかにしたことから「いままでも以上の米の生産調整や農産物の輸入は、農家の生産意欲を減退させる」と述べ、知事に政治的解決を要請しました。また、五十三年度に予定している鶴川内地区の農業構造改善事業によるは場整備の助成と、これに伴う高松川河川改修工事についても善処されるよう要請しました。

オレンジ果汁輸入に抗議 果樹農家が危機突破大会

第四回定例市議会最終日の十二月二十四日、小雨の降るなかを市内の果樹農家百二十人が「オレンジ、果汁輸入枠拡大絶対反対」「農産物の関税引下げ反対」などのスローガンを

掲げて、午前九時、市役所正面玄関付近で、果樹農業危機突破大会を開き、政府のオレンジ、果汁の輸入枠拡大に抗議しました。この大会は円高ドル安のなかで日本の対外貿易収支の黒字べらし政策の一環として、政府がオレンジ、果汁の輸入枠拡大を打ち出したため開かれたものです。

大会では富吉福蔵阿久根農協長が「工業製品の輸出増大の見返りとして、果実や加工製品の輸入枠を拡大することは、今日の経済不況を、果樹農家の犠牲によって切り抜けることになり、果樹農家に壊滅的な打撃を与える」とあいさつし、オレンジ、果汁の輸入枠拡大と関税引下げに抗議しました。

また、同日の市議会には「オレンジ、果汁の輸入枠拡大ならびに関税引下げ阻止に関する決議」が提出され、市議会も万場一致で決議しました。

第 4 回定例市議会

一般会計に一億二千五百万円を追加

松元景三氏を公平委員に再任

第四回定例市議会は十二月八日から二十四日まで、十七日間の日程で開かれ、議案十件、承認一件、同意一件、認定二件、請願三件を審議し、地方交通確保に関する請願が継続審議となった以外は、原案どおり可決されました。

承認一件は市民憲章を制定するため、議会の承認を求めたもので、同意一件は十二月二十一日付で任期満了となる公平委員の松元景三氏（下村・57歳）を再任するため議会の同意を求めたものです。

認定二件は昭和五十一年度阿久根市歳入歳出決算の認定と、昭和五十一年度水道事業の決算の認定でした。

採択となった請願二件は鹿教組阿久根地区協議会が提出したもので、政府が来年度予算編成で義務教育諸学校教職員定数の最低保障率廃止を検討していると報道されたことから、教職員定数の急減は教育水準の低下を招くとし、従来どおり教職員定数の最低保障率の維持を請願したものと、昭和三十七年以降無償配付されている小中学校の教科書について、今後も従来どおり無償配付するよう請願したものです。

歳出にそれぞれ一億二千五百七十七万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を四十五億三千九百九十一万八千円としました。

補正予算の主なものは、庁舎建設費に八千三百七十七万円を追加し、本年度の事業費総額を三億六千七百三十万円としたほか、市職員の給与改定に伴い三千六百九十九万二千元を人件費として追加したことなどです。

このほか、農業関係では農村振興運動を推進するため、コミュニティ施設整備事業補助金として百万円を計上し、豊かで、めくもり、満ちた村づくりを進める一方、瀬之浦地区の県道農道整備事業補助金として二百三十八万二千元を予算化し、農道整備を促進することとしています。

農業関係では、赤瀬川の船溜り（段）に建設予定の赤瀬川漁具倉庫設置事業に二百二十四万七千円を補助するほか、黒之浜港高改修事業の地元負担金として更に三百万円を追加、本年度は同事業に千九百万円を支出します。

八十万円を追加、逸線対策事業として大川本線と赤瀬川段線を改良補装し、泉道阿久根・東郷線（田代線）の改良補装事業地元負担金として二百万円を支出することにしています。

災害復旧関係では補助土木施設災害復旧費に六百八十二万円を追加し、牛之浜落線、八郷笠山線など六か所を災害復旧するほか、補助農業施設災害復旧費に三百五十五万八千円を追加し、上藤地区、第二上藤地区、第二丸塚地区、第一米次地区の農道や水路を災害復旧することになり、これで農業施設関係の災害復旧を、すべて完了することになりました。

高額療養者に朗報

無利子で療養資金を貸与

第四回定例市議会が国民健康保険高額療養資金貸付基金条例が制定され、国民健康保険の被保険者で、四万九千円以上の高額療養費を必要とする人に、一月から療養資金が貸付けられることになり、一部負担金の支払いに困っている人たちに朗報となっています。

最近、医療技術の高度化や難病などの増加によって、高額な療養費を必要とする患者が増加している

ます。このため、自己負担金が三万九千円を超える医療費については、高額療養費支給制度によって救済されています。

しかし、この制度は一部負担金をいったん医療機関に支払ってから、領収書を添えて支給申請する制度であるうえ、一部負担金を支払って三か月目に支給されているため、医療費の支払いに困っている被保険者が多い実情です。

本市で高額療養費支給制度の対象となっている人は、年間約千二百人。なかには一月五十万円近い自己負担金を支払っている人もあり、この制度で救済される人は約五百人と推定されています。

自己負担金の支払いに困っている人で貸付けを希望されるかたは医師の一部負担金請求書と印章をもって、市保険衛生課で手続きを行ってください。

赤瀬川漁具倉庫に補助

一般会計の補正予算では、歳入

豊かな住みよい郷土を目指して

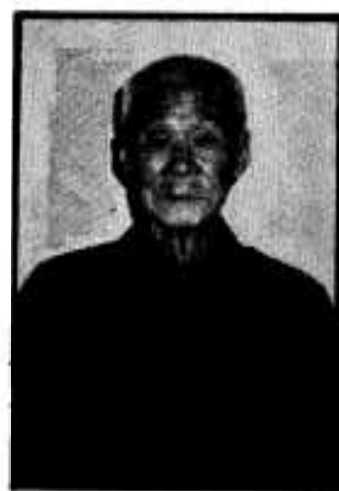
市民憲章を制定

定例市議会で市民憲章の制定が承認され、一月二十八日市民会館で開かれる第三回社会教育大会で、地域社会の生活環境を改善し、市民生活を豊かにするため制定されたもので、昨年七月二十二日市民憲章起草委員会が発足し、市民生活を豊かにするため制定されたもので、昨年七月二十二日市民憲章起草委員会が発足し、

阿久根市民憲章

わたくしたちは、豊かな黒潮に洗われ、まろやかな文具をはぐくむ美しい自然と、誇り高い歴史をもつ郷土阿久根を、更に発展させるために、市民の規範として、ここに憲章を定めます。

- 一、お互いにあいさつをかわし、みんなに親切をつくします。
- 一、時間ときまりを守り、住みよいまちをつくりまします。
- 一、花や緑を育て、きれいな郷土をつくりまします。
- 一、すすんで教養を高め、文化のまちをつくりまします。
- 一、元気で働き、明るい家庭、豊かなまちをつくりまします。



名譽市民 松田進さん死去

名譽市民の松田進さんは十二月二十九日午前一時三十分、心不全のため八十三歳で死去されました。葬儀は十二月三十日行われましたが、市葬は一月十三日午後一時、市民会館で行われます。

松田さんは昭和二十二年五月一日阿久根町長に当選以来、三期十二年にわたり町政・市政を担当。その間、農政部門では戦後の混乱期に、先頭に立って農家の供出を奨励し、国民の食糧確保に尽力。また、農民の農地解放に伴う混乱を調整し、農家の自立と農業経営の合理化を促進。水産部門では戦前からの懸案であった阿久根漁港の整備を促進し、今日の、漁業のまち阿久根の隆盛を確立。土木建設部門では戦中放置さ

れた、荒廃している道路網の整備に尽力。同時に戦災復興都市計画を実施。また県下各市に先駆けて、いち早く上水道を敷設。教育部門では出水の海軍航空隊舎払い下げ運動を進め、戦災校舎の復旧と新制中学校の校舎整備に尽力。一方、昭和二十七年には市制施行になるまで市勢を興隆させ、更に昭和三十年には隣接の三笠町を吸収合併して、戦後の混乱期から脱却し、今日の阿久根市発展の基礎を築かれています。

制定の運びとなったものです。市民憲章起草委員会（江良英千代委員長）には、教育委員・社会教育委員・市PTA・市婦連・市青協などの民主団体代表をはじめ市からも小野助役らが委員となり先達都市の市民憲章を参考に、制定されたものです。

市民憲章が制定された昨年は、昭和二十七年に市制が施行されてから二十五周年を迎え、阿久根市は市庁舎建設事業と都市計画事業に着手、名実ともに戦後から脱皮し、北薩の中核都市を目指して、新しい都市づくりへと躍動した年でありました。

これを記念して、より豊かな、美しい、住みよい郷土にするため制定されたもので、私たち阿久根市民の規範として、ひとりひとりが市民憲章を大切にしたいものです。

奨学生を募集

市教育委員会では、昭和五十三年度の奨学生を、二月一日から二月二十八日まで募集します。

申込み資格は本市に三年以上在住する人の子弟で、高等学校、専門学校、大学などに入学しようとする人、またはこれらの学校に在学中であり、品行方正、学術優秀で学費に困っている人。ただし、日本育英会や興育英資金などの奨学金を受ける人は応募できません。

提出書類など、詳しいことは市教育委員会にお問い合わせください。

- 奨学金の貸与額
- 高 校 四千元
- 国立高専 六千元
- 大 学 一万円

第3回社会教育大会

と き 1月28日(土) 午前9時開会
 と ころ 市民会館大ホール
 内 容 社会教育功労者・団体表彰、午後から芸術発表、市民憲章発表
 お 願 い 市民の皆さん方の多数のご参加をお願いします。

阿久根市発展のあすを語る

新春放談



78年は飛躍の年

積極的に事業を推進

不況、円高、倒産、失業者の増大など、暗い材料の多かった昨年、「今年こそは景気浮揚を」という願いが込められて新年が明けました。阿久根市は市庁舎の完成、都市計画の着工など、飛躍の年を迎えています。半面、自衛隊誘致などの課題を抱えて、今年も厳しい年になりそうです。そこで、五人の方に出席していただき、新年の抱負などを話していただきました。

司会 あけましておめでとうございませう。昨年は不況ムード一色の年でございましたが、国や地方自治体においても、財政的にも行政的にも多事多難な年でありました。今年には不況ムードを一掃して豊かな魅力のある町づくりに、お互いに努力しなければならぬわけですが、年頭にあたり、まず市長の方から新年の抱負を述べていただきます。

市長 昨年は長年の懸案であった市庁舎建設に着手し、都市計画

格的な工事に着手しますので、飛躍の年になるのではなかろうかと考えています。



坂元市長

事業も事業認定になり現況測量を行うなど、阿久根市の躍進の年でもございましたが、今年には市庁舎も完成しますし、都市計画事業も本

格的な工事に着手しますので、飛躍の年になるのではなかろうかと考えています。

出席者（イロハ順）

- 阿久根商工会議所商業委員長 大田 時 芳
- 阿久根市観光協会会長 谷 口 友三郎
- 阿久根農業協同組合長 富 吉 福 敏
- 黒之浜農業協同組合長 福 浦 忠 二
- 阿久根ロータリークラブ会長 松 岡 敏 夫
- 阿久根市長 坂 元 善 文
- (司会) 阿久根市総務課長 中 尾 泰 法

また、市長就任四年目でもありますので、思い切った政策で市民の皆さんの期待に応えたいと考えています。なかでも農業は、円高ドル安の影響を受けて、オレシジ肉牛の輸入問題など、国際的危機感の伴う年でもありますので、特に今年は、国や県の事業を積極的に導入し、農業の振興に力を注いでまいりたいと思います。

水産業、商工業も今までと違った視野の広い立場から、国や県の事業をできるだけ多く導入して、積極的に各種事業を推進していきたいと考えています。

このほか今年には、出水、宮之城のと殺場が閉鎖して、阿久根市のと殺場に委託することになりましたので、約三億円をかけて、鹿児島県一のと殺場に拡張したいと考えています。

学校関係では山下小の体育館が一年早く実現できましたので、今年には折多小のプールと尾崎小の体育館建設を、是非、実現できるように努力したいと考えています。

司会 市長から五十三年度の施策の概要について話していただきましたが、市長が特に重点施策と

して取組んでいきたいと述べられ
農業問題について、富吉さん何か
ひと言し。

富吉 ただ今、市長から五十三
年度は特に農業関係に力を入れた
いというありがたいお話を伺った
わけですが、こと農業に関する限
り、今年も前途多難な年というの
が実感です。

政府は果樹、畜産、園芸という



富吉福蔵さん

三つの柱をたて、主産地形成事業
を推進してきましたが、昭和三十
六年に貿易の自由化がなされ、こ
れに伴い農産物も年々輸入され、
ま補で首を締めるようにして農業
は感しさを増してきたというのが
事実です。

特に昨年暮れのオレンジ、果汁
の輸入ワタシ大は、農家に大きな
被ばを投げかけ、果樹農家は食う
に耐えないという心情から、果樹
農業危機突破大会を開きました。

このほか今年、六十三の補
作転換の割り当てもあつたよう
です。これから農協理事会など
で十分検討して、阿久根にふさわ
しい今後の農業の生き方を見い出
したいと考えています。

司会 富吉さんがおっしゃった
とおり、農産物の大幅な輸入増と

いうことで、農業は厳しい年を迎
えています。今年の市の具体的
な施策についてひと言し。

市長 今年、阿久根内地区の水田
五十分を、農業構造改善事業では
調整することになっていますが、
阿久根のように耕地の狭いところ
では、農業構造改善事業に該当し
ないようなところを基盤整備する
、ミニ構造改善事業、を実施して
十ノの細かい施策をしたいと考え
まして、泉の助成もお願ひしてい
ます。

また、江内ダム建設が具体化し
まして、阿久根市も調査負担金を
県に支払っています。これが完成
しますと、桐野から折口中津原地
区の耕地が恩恵を受けるわけで、

モ業園芸を飛躍させたいと考えて
います。

畜産は阿久根・三笠両農協の力
強いバクテリアアップによって、阿久
根地区には肉牛団地と生産団地
が完成しましたし、三笠地区では
瀬之浦を中心に多頭飼育が盛ん
になりつつありまして、今後の農業
経営は、こういう方向に発展する
のではないかと期待しています。

それから富吉さんから話があり
ました。米の生産調整につきまして
は、今年、六十三という大幅な
転作転換目標の割り当てを受け、
生産者はもちろんのこと、市や農
協も苦しい立場に追い込まれてい
るのが実情でございます。
特に阿久根の水田は溜田が多く

発展のカギ握る庁舎跡地

自衛隊誘致に全力を

司会 ところで大田さん、農商
業にうるおいがなければ、商工業
も発展しないと思うわけですが、
今年、市庁舎も移転しますので、
跡地利用の問題もからめて、庁舎
付近の商店街の再開発、あるいは
都市計画事業による周辺地区の市
街地形成などについて一言し。

大田 昨年は市庁舎建設の着工
大型スーパー「だいわ」の進出な



大田時芳さん

に対処するため広域診断を受けま
したが、地元の商工業を育成する

みんなの街です。美しく
暖いからの投げ捨てはやめましょう。



水稲以外の作物に転作できないと
いう実情で、国の方針どおり転作
転換するには基盤整備を行い、乾
田にする必要がございますので、
国や県に働き掛けて土地の基盤整
備を促進したいと考えています。
富吉 現在の農業は一毛田では
おしまいでして、土地の基盤整備
が必要だと痛感します。耕作地の

ためには、市民の皆さんのご協力
が必要だと痛感しました。

従って、私も商工業者としてま
しては、できるだけ地元で買物を
していただきたいというのが希望
でございます。しかし、これだけ
自動車が増加しますと、それも困
難になるわけでございます。そ
れには地元商店街も、消費者が買
いやすいような値段で商品を売り

買いやすいような店にする努力が
必要だと考えています。

また、消費者のかたから、阿久
根の商店街には駐車場がないとい
われるんですが、商店街振興の立
場から市街地に駐車場を設けてい
ただきたいというのが私どもの希
望でございます。

市役所移転後の跡地利用の問題
につきましては、私も市役所
に出入りする人数以上の施設をつ
くってもらいたいというのが希望
でございます。ひとつの方法とし
て、北羅一のレジャーセンターを
つくることも一策だと思いますが
基本的には一人でも人口を増やす
ことが大切だと思ひます。

人口を増やす方法としては、工場を誘致して若者の都会流出を防ぐことが最善の方法だと思いが、今日の不況のなかでは企業が設備投資を控えていますので困難でしょうし、その点、自衛隊誘致は市勢浮揚のキメ手だと思いで、全力投球で誘致に努力していただきたいと思えますね。



松岡敏夫さん

松岡 自衛隊誘致は市勢浮揚の絶好機だと思います。現在、出水川内をはじめ、県下では十数市町が誘致を表明しているということですが、私は出水・川内には県の

出先機関も多いし、裁判所や営林署など国の出先機関もあるんですから、自衛隊誘致問題では阿久根に協力すべきだと思いますね。
谷口 時に出水・川内には、私も新幹線駅設置の問題で協力しているわけですし、両市とも大きな工場もあるんですからね。北薩地域の開発の点からも、自衛隊誘致は阿久根に協力してもらいたいと思えますね。
それから、市役所跡地利用の問題でございますが、今年の四月には、バイタリティーな市長のご努力で、鹿屋・指宿・伊集院をさしおいて、阿久根駅に「みどりの線

口」が設置されることになりましたので、あの敷地を立体的に利用して歓楽街をつくり、観光阿久根の夜の人口を、徹底的に増やしていただきたいと思えます。

市長 大田さんが言われた若者の都会流出という問題は大きな問題だと思えますね。後継者が残らないということは、阿久根の農業

漁業、漁工業の経営基盤が不安定だとも言えるわけでして、地元に安定した企業があれば、ある程度の都会流出は防げるわけですので不況下ではございますが、企業誘致に絶やまざる努力をしてみたいと考えております。

自衛隊誘致問題は、現在、南九州の十六市町が誘致を表明し、それぞれ強力な運動を進めておりま

日本一のタケノコ主産地に

谷口 観光面では戸柱公園下の

岩礁を生かしてヨットハーバーをつくるとか、釣り情報からエサ、餌まで一斉を世話する総合センターをつくることも、阿久根の海岸線を生かすことになりま

福浦 とくところが、遊漁者が多く

て漁民は困っているんですよ。ご承知のとおり二百海里問題で連洋漁業が締め出され、沿岸漁業も漁場を奪め出されており、遊漁船を増やせば沿岸漁民は両方から占め

税の相談は電話でO・K
今年も贈与税や所得税の申告時期になりました。毎年この時期になる「贈与税の計算の仕方」を教えてください」とか、「土地を売、

税務シリーズ
- 1 -

したが申告はどうしたらよいか」など、税金の相談が多くなってきました。
このようなときは、速速なく出水税務署(0996660200)、市役所税務課(01211内線217)へお尋ねください。お気軽にどうぞ。

して、隣接の出水市では井上、金丸両参議院議員の後押しがあり、川内市も名乗りを上げ、垂水市では二階堂進元幹事長のバックアップなど、阿久根市にとって厳しい状況でございますが、市、議会、推進協議会を中心に、市民一体となった誘致運動を展開したいと思っておりますので、市民の皆さんの

一層のご協力をお願いします。市役所跡地利用の問題につきましては、商店街の再開発、市街地形成の点からも重要な問題でございますので、皆さん方のご意見を含めて、更に市民の皆さん方の意見をお聞きし、阿久根市発展の原動力となるよう配慮いたしたいと考えています。

釣り客の誘致は、郡会ではメリットがあるでしょうが、田舎では海を汚染させるだけで、何のメリ

ロンなどを海に捨てる釣り客には困ったものですね。
松岡 遊漁船をやっている人でも、漁業組合員がいるんですから組合内で規制したらどうですか。



福浦忠二さん

谷口 観光協会では農漁業を観光資源として役立てようというこ



松岡敏夫さん

とで、毎年、農漁業のかたと懇談会を開いています。これは農漁業に例をとりますと、日本一の主産地

でもないのが実情ですので、私たち漁民は漁場管理の立場から、遊漁船や磯づりに反対しています。市長 ジュースの空カンやナイ

くという考え方です。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	区名
大河 昭五	昭人(兵)	
坂元 昭彦	隆一(兵)	
貴島 由起	純男(町)	
貴島 由香	純男(町)	
花田 友和	信義(大丸)	
西園 伸一	嘉志(高之口)	
笠瀬 隆信	辰男(永田下)	
寺地 悠美	健造(尻無下)	
濱崎 愛	憲男(佐岡)	
大曲 直子	直幸(高松)	
濱崎 香代	勝義(大尾)	
大田 達雄	健吉(尻無中)	
新 俊幸	重俊(新町)	
的場 智紀	賢三(的場)	
根比 利博	末男(浦)	
橋口 真希	勝廣(洞)	
橋本 あい	長義(佐島)	
寺地 政寿	安政(尻無下)	
筒 恵美子	次雄(永田上)	
森永 直樹	博美(折口東)	
吉田 聖美	博志(大丸)	
羽田 佳代	又男(寺山)	
松崎 みどり	光男(陳之尾)	
佐々木 勝吾	安昭(中村)	
梶尾 有美	三春(黒之浜)	
洲上 隆実	五市(黒之上)	
中村 聡子	真(深田)	

御冥福をお祈りします

中野 桃枝 41(岡田)各一
迫田 富士夫 29(岡田)富子

市長 農協長どうですか。

富吉 タケノコに関しては、早出しでも量的にも鹿児島県一です。野菜の低落のときですが、値段もいいですし、今年は竹林改良を促進したいと考えています。

谷口 タケノコの話ができましたが、NHKテレビで、京都のタケノコを紹介していたんです。京都のモウソウ竹は、鹿児島から持って行ったんです。だから何で鹿児島県のタケノコを紹介しないのかと不満でした。



谷口友三郎さん

富吉 竹林改良は阿久根よりも京橋が発達しているんです。阿久根の竹林改良は五、六年前からなんです。

市長 竹林改良事業は五十三年度から、県が国庫補助事業として実施しますので、阿久根市もこの事業を導入して、名実ともに日本一の主産地にしたいですね。イチゴも五十三年度は奨励の意味で補助金を出し、増産させるようにし

たいですね。

それから、この前、国鉄から西鹿児島駅や熊本駅のように、阿久根駅を民営駅にしようという話があったんですが、どう考えますか。

谷口 私は民営にする前に、長島町、東町、大口市を含めた広域観光の観光コース設定と、不況で難行している長崎県野添崎/阿

漁業振興は港と漁場造成

もっと特産品の宣伝を

富吉 私は議員研修で三重県尾鷲市に行きましたが、あそこにはテレビドラマの「旅路」という番組のロケが来たらしいですね。

阿久根もロケの適地が多いんですから、テレビドラマのロケでも誘致して宣伝したらどうですか。

市長 いいアイデアですね。映画監督の山下耕作さんもいるんですから、何とかしたいですね。テレビの宣伝力は大きいですが

ら、私はこの前、NHKを訪問して、局長に阿久根を取り上げてくれるようにお願いしてきました。谷口 阿蘇の「白雲山荘」が、テレビドラマの舞台になったら、年間一億円の売上げが伸びたという事です。私たちが何とか

久根間のフェリー就航に取組んでいただきたいですね。

福浦 フェリーを就航させるには、現在の港では小さいと思えますね。そこで、楠浦に大きな港をつくって、そこにフェリーを就航させ、水産加工団地をつくった

ら、阿久根市は水産都市として大きく伸びるのではなかるうかと思えます。市長 阿久根市の漁船は四百六

十一隻で、ほかに他港船が約千三百隻いますので、沿岸漁業が盛んになります。現在の漁港も小さいわけ、福浦さんがおっしゃったとおり、思い切った港をつくることも大切なことですね。

長崎とのフェリー問題は、是非とも実現させたいと思います。今年は商工会議所、観光協会と一体となって、就航について要請してみたいと思います。

したら脂肪が少なくてひきもいいと、すり身の工場、北海道で好評のようですね。

市長 私もサバのすり身をつくったチクワを食わせてもらいましたが、日奈久あたりのチクワよりもおいしいですね。

工場も見学しましたが悪臭もないし、二十二人の新規採用ができたということですので、雇用対策の面からも良かったですね。

松田 ウニ製品も輸入されていますので、それに対する対策を考えようと思っています。名古屋、大阪方面の市場を視察してきましたが、阿久根のウニも評判がいいし、前途洋々ですね。

煮干し、塩干物などの阿久根の製品も、市場では好評ですね。ところが、阿久根の製品が四国の煮干しや塩干物に化けて、消費者は阿久根の製品だと知らないですよ。やはり、テレビなどの宣伝を最大限に利用して、消費者に知らせ

たいものです。



中尾総務課長

- 野村小次郎84(黒之浜) 次右衛門 笹原 優子 21(桐野下) 一 男 釣井 仙蔵 79(永田上) 国 弘 松林 伝蔵 72(伊) マキ 神之田 太郎88(仲仁田) エタ 早水 千秋 55(折口東) ナル 上田 照 49(鶴) フミ 落 イ子 78(大川島) 十吉 松水 長次郎85(牛之浜) ナイ 松水 志野 81(牛之浜) ソノ 田上 サブ 78(大下) 隆 義 中山 萬次郎74(波留) セン 田畑 ヤサ 78(高) 久武カオル 川畑 久子 40(本之牟礼) 富 盛 畑中 スキ 84(上野) 恵美子 原 カヲ 69(新町) 本城義典 奥平 キヨノ88(中屋敷) テルエ 中野 ハツヨ80(川畑中) 金 衛 大田 ハツ 73(尻無上) イトエ ハンターにお願ひ
- 十一月十五日から狩猟解禁となり、各地でハンターによる狩猟が行われていますが、狩猟期間になると、毎年、鳥の止まり木となっている電話線やテレビ共同受信のケーブルがネライ撃たれ、被害を受けています。
- 被害を受ける電話線やテレビ共同受信施設のケーブルは、山奥のものが多いため、発見しにくい。又修理に手間取り、電話を利用する人やテレビを見ている人たちに大きな迷惑をかけることとなります。電話線やテレビ共同受信のケーブルなどをネライ撃たれた狩猟は、やめたいものです。

る必要があると思えますね。
大田 阿久根には養魚場はないんですか。

福浦 大湖に何か所あるんですが、ほかに適当な湾がないんです。だから私たちは、昨年、市の援助を受けて湖干持りの養殖をやっているんですよ。

市長 どんな貝ですか。
福浦 帆立で貝に似た貝で、かなり大きいものです。貝の養殖は仕事の合間にできますので、沿岸漁業には適していますね。

しかし、漁業を発展させるには何といっても港と漁場造成が大切です。港は今日考えて、明日できるというものはありませんが、漁場造成は飯島から阿久根まで、ずっと魚礁だらけというようにしていただきたいと思いますね。

市長 沿岸漁業は漁場造成が必要ですからね。五十三年度から一億単位の大規模魚礁を国がやることになっていますので、阿久根も是非、導入したいですね。

福浦 漁業はマキ網漁業などで協業化をやっていますが、農業や商工業も協業化を進めたらと考えているんですよ。

現在、農業などを保護するために、いろんな施策がとられています。将来の発展という点では疑問だと思います。

例えば農業の場合、狭い耕地を各人が耕作していますが、数件の農家が組織をつくって、少ない労

力と人件費で耕作し、残った労力で他の仕事をするとか、商工業の場合でも、大型スーパーの進出などもありますので、数件の業者が出資し合って大きな店舗をつくり共同経営することも考えていいのではないかと思いますね。

大田 おっしゃるとおりなんですよ。協業化で成功している例もあるんですからね。ところが、阿



昨年十一月には大型スーパー
だいわが新築工事に着手

久根の場合、指導者がいないのが実情なんです。
富吉 農業の場合、肉牛団地、生産団地は準備業といえるでしょうね。畜産関係は、やればできると思っていますが、耕作農家は土地の集約が困難ですね。だから狭

い耕作地に、機械もそれぞれ一台ずつ持っていなければならぬし五人まとまれば一台の機械でいいわけですからね。まさに機械貧乏といわれるゆえんは、ここにあるんですよ。
司会 今日はいろいろと意見があったようですが、最後に市長にひと言。

市長 今日は貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございます。今年が市庁舎の完成、都市計画事業の本格的な着工、更には西目大川島から山下、鶴川内、野田、高尾野、出水を経て、水保市に通じる広域農道の着工など、阿久根市の飛躍の年でございます。行政的には自衛隊誘致の問題など、厳しい年ではございますが、市民の皆さんの福祉向上のため、一層努力したいと思っておりますので、皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

みどりの窓口 四月から営業開始

阿久根駅

阿久根駅の「みどりの窓口」は四月一日からの営業が確定になりました。

特急券をはじめ、寝台券・新幹線切符など全国の国鉄切符がコンピュータによって、その場で買

える「みどりの窓口」を阿久根駅に設置してほしいという強い市民の要望に答えて、市長をはじめ阿久根駅関係者等が努力した結果、

阿久根駅、指宿駅、伊集院駅、串木野駅よりも早く実現しました。

約三千六百万円かけて設置される施設は、もっとも新しいN型というもので、みなさんからの電話の問合わせに対しても、お望みの切符があるかどうかをすぐ答えていただけるのももちろん、第一希望の切符がないときは、その前後の列車の切符のありかを調べていただくこともできます。

阿久根駅では「みどりの窓口」営業にともなって一日二百人の利用者客を予定しています。

在宅医さん

- 一月十五日
- 堀切医院 ②0263 (高松)
- 喜多医院 ②0038 (大丸)
- 石原医院 ②0045 (橋之東)
- 一月十六日
- 阿久根内科 ②0578 (新町)
- 田中医院 ②0553 (大丸)
- 濱之上医院 ②6000 (橋馬場)
- 一月二十二日
- 上園医院 ③1055 (本町)
- 中村病院 ③0015 (大丸)
- 平 医院 ③2626 (古里)
- 一月二十九日
- 北園医院 ③0016 (本町)
- 喜多医院 ③0038 (大丸)
- 黒木医院 ③0200 (下村)

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

- 香典返し寄付(敬称略)
- 松永要(牛之浜) 川畑富蔵(本之牟礼) 田畑安男(高) 下園マサエ(尻無中) 早水ナル(折口東) 奥平ミツ子(中屋敷)
- 瀬之浦ミチ子(古里) 中山セン(波宿) 川畑俊信(川畑) 京田廣海(瀬之浦上) 鶴園フイゲサ(尻無中) 花田一加(的場)
- 松木文夫(瀬之浦下) 倉田利行(高) 田中四男(本町) 久留

超早出しに成功 実エンドウを年内出荷



実エンドウのサヤを見せる尾上栄一さん

八月下旬は種し十月中旬に出荷する抑制キヌサヤの技術を実エンドウ栽培に生かし、ふつうよりも四カ月も早い十一月十日から実エ

ンドウを出荷するという試験栽培に成功、農業関係者の注目を集めています。
この試験栽培に成功したのは西

産業祭にぎわう

農産物を即売

市内の農林水産物や他工業製品を一室に展示し即売する産業祭が十二月十七・十八日の両日、市民会館で開かれ、会場は約三千人の人出でにぎわいました。

大ホールでは野菜、大根、花、茶などの農産物や丸干し、きびなご、うになどの水産加工品などを市価の二・三割引きで即売し、正月間近かとあって、会場は正用用

品を買入れる主婦らで盛況でした

ホールには誘致企業コーナーも設けられ、虎印スポーツ、細井製作所、鹿児島製靴、中織ニット、ゼンタクなどが、それぞれ自社製品を展示したり即売していました

生活工夫展では「毎日八時間の睡眠をとり、八種類の野菜と牛乳一本を食事に」と、生活改善グループが「8・8・1運動」を主婦らに呼び掛けていました。

このほか市民会館前広場では緑化樹、花木展、農業機械展も行われました。また老人クラブもわら製品や竹製品などを初めて出品し市民の足を引き止めていました。

目飛松の尾上栄一さん(36歳)で本職は西日製材所勤務。昨年度、小組合長になった尾上さんは、少ない耕地で高収入をあげる実エンドウ栽培に着目。一アの畑に抑制キヌサヤの技術で八月二十六日、実エンドウを試験栽培したところ十月十日に開花し、十一月十日から中央青果市場に出荷、むき実でキロ当たり千五百円の高値で取引されています。

あまりにも早い出荷に警戒した市場では、初めキロ当たり五百円で取り引きされていましたが、十一月二十日からむき実で出荷したところ千円に急騰、皮もうすくて味もよいということと十二月からは千五百円で業者から引、張りだこの人気を得ています。

番所鼻沖に魚礁投入

魚貝類の漁場を造成

漁場造成を図る並型魚礁が、十二月一日黒之浜漁業組合内の番所鼻沖合に投入され、漁獲量の増大が期待されています。



並型魚礁を番所鼻沖に投入

この魚礁投入は昭和五十二年度の沿岸漁業構造改善事業として実施されたもので、いせえびや瀬魚など魚貝類の生息に適し、本年度は事業費四百十三万円で、二百九十七個投入しました。

並型魚礁投入による漁場造成は昭和三十七年から行われ、これまで取り引きされてきましたが、十一月二十日からむき実で出荷したところ千円に急騰、皮もうすくて味もよいということと十二月からは千五百円で業者から引、張りだこの人気を得ています。

地区	実施場所	期日		
		1回目	2回目	3回目
大川地区	大川診療所	火 1月24日	火 2月21日	水 3月22日
折口地区	三笠中 旧体育館	水 1月25日	水 2月22日	木 3月23日
波留・高松・新町・真 町・上野・湯・大丸・ 倉津	大丸公民館	木 1月26日	木 2月23日	金 3月24日
上記の地区 以外	大丸公民館	金 1月27日	金 2月24日	火 3月28日

主観(遠矢) 倉津千晴(倉津) 笹井和博(寺山) 植村徹(山下馬場) 儀間光男(高) 中原ナキ(宮原) 徳田松雄(木佐木野) 中野ツナエ(中屋敷)

乳幼児の予防接種
市では百日咳、ジフテリア、破傷風の予防接種を、別表の日程で行います。対象者は昭和四十九年五月一日から昭和五十年十二月三十一日まで生まれた乳幼児です。注射回数は四十九年に生まれた人は一回ですが、五十年に生まれた人は三回となっていますので、対象者の保護者のかたは、一人一人なく受けさせてください。

なお、料金は無料、時間は大川地区が午後一時から一時三十分までとなっていますが、それ以外の地区は午後二時から三時までです。

大相撲阿久根場所にぎわう

栢庄太郎ちゃんらも土俵入り



阿久根のファンに土俵入りを披露する横綱、北の湖

と栢庄介ちゃん(巽さんの長男、五か月)が大関貴乃花と若三杉に抱かれて土俵入り。

横綱の土俵入りでは北の湖が栢庄太郎ちゃん(寿一さんの長男、六か月)を、輪島が栢将祥ちゃん(庄二さんの長男、三か月)を抱いて土俵入りし、観衆の拍手を受けていました。

取組みでは若三杉―旭國、三重ノ海―貴乃花などの好取組みが並び、若三杉、貴乃花らが決勝、注目の横綱闘士の対戦では、北の湖が上手出し投げで輪島を破り、ファンの声援を受けていました。

益金は市社協へ
勸進元の栢さん

大相撲阿久根場所の勸進元である栢沙さんは、同場所の推薦人である原崎和入さんと、十二月二十四日市社会福祉協議会(坂元善文会長)を訪れ「皆さんのお陰で、無事に阿久根場所を終りました。

児童図書を寄贈

野添夏雄朝日生命阿久根営業所長が市長室を訪れ、子供たちのすこやかな成長のために、児童むけの図書十二冊を寄贈されました。同社は、毎年、児童館むけの図書を寄贈され、子供たちに喜ばれています。

もちつきを応援

十二月二十四日、特別養護老人ホームのもちつきに西目青年団(宇都松三団長)が応援。正月を間近かに控え「今年もおいしいもちが食べられる」と、体の不自由なお年寄りたちは、喜んでいました。



現代っ子

古くて新しい遊びに熱中

手づくりの喜びを知らない子供たちに、自分でつくる喜びと昔の素朴な遊びを教えようと、十二月十八日(日)西目の稲牟礼神社境内で、栢高齢者学級のお年寄りたちが、小学生に遊具の作り方と昔の遊びを教えました。

裏山からほどよい木を切り、ノコ、ナタなどを持って集まったお年寄りたちは、さっそく「打ちゴ

少ない額ですが、恵まれない人たちのために役立ててください」と金一封を寄付されました。

「マ」「インテンコ」「ネン」「羽子板」の工作に着手。どんな遊びだろうと、興味深げに見ている子供たちの前に、たちまち遊具ができ上がり、さっそく遊び方の伝授。

「打ちゴマ」は木の先端をナタで削り、適当な長さで切ってコマをつくり、小さな棒の先端にカシの皮をつけ、コマをたいて回す遊び。

「インテンコ」は十五センチほどの木切れを地面に置いて、三十センチほどの木で片方をたたき、飛び上がった木切れを打って、飛んだ長さ



(修一さんの長男、一年五か月) 益金を寄付する栢沙さん

晴天に恵まれた同日は幕内力士が土俵入りした正午過ぎには約四千五百人の相撲ファンが詰め掛け阿久根小や西目小などの子供供たちも観戦。なかにはサイン手帳を片手に、貴乃花や高見山を追っ掛けている子供もいました。

十両の取組みのあと、幕内力士の土俵入りでは、大重元輝ちゃん

近畿地区阿久根会便り



新会長に迫末弘さん

昭和44年に阿久根出身者の親睦会として発足した阪神地方阿久根会は会員約100人。初代会長上野末春氏の後に、2代目会長として垂泰蔵氏が就任されましたが、病氣療養中のため昨年11月総会で会長に迫末弘氏（写真）、副会長に鶴崎一男氏と西園伸兵衛氏が就任。

12月4日役員会を開き、会員拡大のため、会の名称を近畿地区阿久根会と改め、顧問に阿久根市長坂元善文氏を要請することになり、今春、迫会長が坂元市長を訪問し、直接、顧問への就任を要請に行き、近畿地区阿久根会の総会に出席していただくことにしています。

元浪曲家の松永さん

牛之浜を歌う

伊丹秀子の弟子として浪曲界で活躍していた松永徳栄さん（満・50歳）が、満身に悩む生まれ故郷の牛之浜を題材に、「牛之浜音頭」を作り、牛之浜の人たちに喜ばれています。



松永さんは昭和二十三年、地方公演に来ていた天中軒小妻月に高之口で弟子入りし浪曲界へ。二年後には伊丹秀子に弟子入りし、伊丹秀若などの名で全国各地を地方公演。昭和三十年の全日本浪曲枝

を競う遊び。「ネン」は直径五センチほどの丸太棒を、四十センチほどの長さに切って先端を削り、地中に打ち込んで相手の棒を倒す遊び。このほか、お年寄りたちはムクロジの実の代わりに、木で作った羽子と羽子板をつくり、遊びの工夫を子供たちに教えていました。

カセットテープに吹込んだ牛之浜音頭を聞く松永さん。雲土番付には、新鋭伊丹秀若として写真入りで紹介され、村田英雄や雨條文若（三波春夫）らと名を連ねています。しかし、テレビの普及で次第に公演場所の確保が困難となり、昭和三十三年、伊丹秀子の引退と同時に廃業し、滋賀県で織物製造の仕事に転身。郷里で織物製造を五年前に帰郷され、このほど、次のような「牛之浜音頭」を自作作曲されたものです。

一、佐海鼻から羽島の中にかすむ景勝のこしき島
二、茨尾の山から朝日が昇る
里にや先祖の木が繁る

おしゃべりカラスは18歳

牛之浜庄蔵さん（牛之浜）が飼っているカラスの「カー子」は、おしゃべりカラスと、付近の子供カー子と遊ぶ牛之浜ミ子さん



「カー子と九官鳥は家族の一員です」と、奥さんのミ子さんは話しています。



遊具をつくるお年寄りたち
初めはお年寄りたちの工作をみていた子供たちは、でき上った遊

具で遊ぶうち、次第に熱中、おじいちゃんたちの手ほどきで、手づくりのコマを回したり、楽しいネンの遊びなど、古くて新しい遊びに熱中していました。

今日も音頭で手はずむ
歌詩のあとに「ジャットネ」を四回繰り返し、歌詩は八番まで。

たちに親しまれています。
飛べずに、たんばにいたカー子を、三男の民義さんが拾ったのが十八年前。今年カー子も十八歳の正月を迎えました。

高齢のため目が不自由ですが、耳は達者。人の近づく足音をすばやく聞きとり「カーアチャン」「スズエ」「カズ、コンカ」と甲高い呼び声に訪れた人がビックリ。

牛之浜さん方には九官鳥もおりカー子が「カーアチャン」と呼ぶと九官鳥が「オーイ」と返事してからかう仲の良さ。この九官鳥も愉快な鳥。かごの前を通ると「ドケイットカ」と質問。



お知らせ

市県民税申告の受付

昭和五十三年年度で課税される市県民税の申告受け付けは、別表のように入力一月十九日から二月十八日まで、市内各地の公民館で行われます。

市県民税申告は、今年の税金を決める大事な申告ですので、一人もれなく申告してください。

保育園児を募集

市内の公立、私立の保育所や児童館では、昭和五十三年年度の園児

入所申し込みを、一月八日から二月二十八日まで受け付けます。申し込みは各保育所、児童館とさせていただきます。

体験談を募集

鹿児島県貯蓄推進委員会は「わが家の家計簿」というテーマで、家計簿をつけているかたの体験談を、二月二十八日まで募集してい

ます。家計簿をつけはじめた動機や記帳上の苦心談、家計簿で発見したムリやムダなど、家計簿記帳での体験について、四百字詰原稿用紙五枚以内にとり、月別、項目別支出一覧表を添えて、鹿児島市山下町、県庁地方課内の貯蓄推進委員会に応募ください。特選は五万円、秀作は三万円、佳作は一万円の賞金があります。ふるって応募ください。

編集室から

▽新年おめでとうございます。一月は祝月（いわいづき）とも言われているように、正月は何となくめでたく感じます。広報編集に明け暮れた

昨年、今年もまた新しい企画をたて、内容の充実した紙面づくりを努力したいと思っています。

▽昨年は表紙に、身障者、母子世帯など、逆境にも負けず地道に生きている人々を紹介しましたが、今年もこの路線を踏襲し、来月号から阿久根市の産業を支えている人たちの仕事をテーマに、そこに働く人たちの生きる喜びを描いていきたいと思っています。

▽毎月の編集のなかで、時折り県外在住の人たちからお礼の手紙が寄せられると、日頃の苦勞も忘れてしまいます。折返しお礼の手紙をと思いながら、原稿に遅れる毎日。作文「アレギー」になっっている職業病が慢性化し、多忙さも手伝って、つい滞りがちですが、次の編集力が入ります。

▽意外に少ないのが市民からの反響。それでも、思わぬところで広報の話が耳にすると、「読まれたのだなあ」と、好不評は別にしてうれしくなるのが編集者。何はともあれ、今年も、より親しまれる広報をつくるため、東奔西走したいと張りきっていますので、広報へのご意見ご希望をはじめ、各地での催しなどをお寄せください。

月日	部	落	時	間	月日	部	落	時	間
1/19 木	尻上	小麦川内	9:15~12:00		2 木	黒之上	黒本馬場	13:00~15:00	
		小表川内	13:30~16:00				黒本馬場	9:30~14:00	
20 金	尻中	鈴木段畑	9:15~12:00		3 金	橋上下	原村	9:30~12:00	
		鈴木段畑	13:30~16:00				原村	13:00~15:00	
23 月	尻下	川畑中	9:15~12:00		4 土	羽宮木	田原野	9:30~11:00	
		川畑中	13:30~16:00				田原野	9:30~11:00	
24 火	尻中仁田	長迫	9:15~12:00		5 月	橋之東	田原野	9:30~12:00	
		中仁田	13:30~16:00				田原野	13:30~15:00	
25 水	的場	野元	14:00~16:00		6 月	橋筒古	田原野	9:30~14:00	
		野元	14:00~16:00				田原野	9:30~14:00	
26 木	山連	弓尾長横	9:15~12:00		7 火	黒之之	新上下	9:30~14:00	
		弓尾長横	13:00~15:00				新上下	9:30~12:00	
27 金	折半永永	田上	9:30~12:00		8 水	黒之之	新上下	13:00~16:00	
		田上	13:00~15:00				新上下	9:00~12:00	
28 土	折半永永	田上	9:30~12:00		9 木	牧東大	内内尾	13:00~15:00	
		田上	13:00~15:00				内内尾	9:00~11:00	
29 日	折半永永	田上	9:30~12:00		10 金	中倉	村津	9:00~13:00	
		田上	13:00~15:00				村津	13:00~15:00	
30 月	折半永永	田上	9:30~12:00		11 土	長上下寺	谷桑桑山	9:30~11:00	
		田上	13:00~15:00				谷桑桑山	13:00~15:00	
31 火	折半永永	田上	9:30~12:00		12 日	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/1 水	折半永永	田上	9:30~12:00		13 月	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/2 木	折半永永	田上	9:30~12:00		14 火	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/3 金	折半永永	田上	9:30~12:00		15 水	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/4 土	折半永永	田上	9:30~12:00		16 木	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/5 日	折半永永	田上	9:30~12:00		17 金	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	
2/6 月	折半永永	田上	9:30~12:00		18 土	高波	松丸	9:00~14:00	
		田上	13:00~15:00				松丸	9:00~14:00	